



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年11月1日
上場取引所 東

上場会社名 ユアサ商事株式会社
コード番号 8074 URL <http://www.yuasa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 博之
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 前多 威 TEL (03)6369-1366
四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	242,813	7.3	5,667	8.2	6,186	8.2	4,157	10.3
2019年3月期第2四半期	226,319	5.9	5,238	15.1	5,715	15.1	3,769	8.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,564百万円 (10.2%) 2019年3月期第2四半期 3,234百万円 (△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	187.56	186.15
2019年3月期第2四半期	170.15	168.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	231,486	78,921	33.9
2019年3月期	247,747	77,118	30.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 78,561百万円 2019年3月期 76,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2020年3月期	—	70.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 70円00銭 設立100周年記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	1.3	14,000	11.8	15,000	11.6	10,000	10.6	451.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	23,155,882株	2019年3月期	23,155,882株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	959,936株	2019年3月期	1,029,287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	22,165,288株	2019年3月期2Q	22,154,105株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を含めております（2020年3月期2Q 79,375株、2019年3月期 84,000株）。また、期中平均株式数（四半期累計）には、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を含めております（2020年3月期2Q 81,396株、2019年3月期2Q 28,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2019年11月18日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、米中貿易摩擦などによる世界経済の不透明感が一層強まったものの、政府や日銀による経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復基調が続きました。建設・住宅分野では、新設住宅着工戸数は減少したものの、都市部における再開発事業などの民間設備投資、国土強靱化計画による公共設備投資は引き続き堅調に推移しました。一方、工業分野では、米中貿易摩擦の長期化により設備投資には一層慎重な動きがみられ、受注環境は低調に推移しました。

海外では、中国市場における設備投資需要の減速が続くとともに、米国においても一部弱い動きがみられました。一方、インド・ベトナム・インドネシアなどのアジア新興国では緩やかな回復が継続しました。

このような状況の中、当期は3カ年の中期経営計画「Growing Together 2020」の最終年度を迎え、「コア事業の機能強化」「成長事業の再強化」「経営基盤の強化」を基本方針とし、「総合力の発揮」とこれまでの「モノ売り」から「コト売り」に向けた諸施策に取り組みました。

「コア事業の機能強化」としては、これまでの営業本部組織に加えて地域ブロック制を導入し、タテ(商品戦略)とヨコ(地域戦略)の連携や総合力発揮によるワンストップでのソリューション提供などに注力するとともに、取引先とのネットワークを活用したコーディネーター機能の充実を図りました。また、中部圏のロジスティクス機能の強化を目的とし、中部物流センターを移転いたしました。

「成長事業の再強化」では、グローバル成長を目指す「海外事業」、「ロボ(AI)&IoT事業」や電子商取引拡大に対応する「新流通事業」、「環境・エネルギーソリューション事業」、「レジリエンス&セキュリティ事業」の5分野を成長事業として、育成・強化に取り組みました。また、次なる成長事業の発掘・育成のために農業、介護・医療分野への新市場開拓に向けた諸施策を推進するとともに、これらの成長事業と新分野開拓により新たな事業基盤を構築してまいります。

「経営基盤の強化」では、挑戦する企業風土の再醸成のため、新たな人事評価制度の導入や人材育成に取り組むとともに、生産性向上と業務の効率化に向けITを活用した「働き方改革」を推進いたしました。また、健康経営を推進し「健康経営優良法人」(ホワイト500)に認定されるとともに、子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比7.3%増の2,428億13百万円となりました。利益面につきましては、営業利益が56億67百万円(前年同四半期比8.2%増)、経常利益は61億86百万円(前年同四半期比8.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億57百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。

《産業機器部門》

産業機器部門につきましては、自動車や食品関連産業を中心に工場稼働率は引き続き底堅さを維持し、自動化・省力化機器、切削工具、測定器具、制御機器などの需要は堅調に推移しました。一方、中国市場向けを中心に半導体やスマートフォン関連産業は、需要の減速が継続しました。

このような状況の中、当社ECサイト「Growing Navi」によるトレードビジネスの商材・在庫アイテム拡充やロジスティクス機能強化による物流サービスの向上、工場向けセキュリティ商品など新商品の拡販に取り組みました。また、コンプレッサや発電機、制御関連機器などの環境・省エネ、安全に配慮した取扱商品の拡充、物流関連機器、ロボット装置、工作機械周辺機器の販売強化に注力いたしました結果、売上高は345億28百万円(前年同四半期比3.3%減)となりました。

《工業機械部門》

工業機械部門につきましては、国内では、自動車や半導体関連産業を中心に設備投資に弱い動きがみられ受注環境は低調に推移しました。一方、自動運転やEV関連、鉄道などのインフラ関連、医療、食品分野向けの受注は堅調に推移しました。海外では、米中貿易摩擦の長期化による影響で、中国、北米で設備投資に慎重な姿勢がみられましたが、インド、ベトナム、インドネシアの二輪車関連産業の設備投資は堅調に推移しました。

このような状況の中、無人化・省力化を図るシステム商品やロボットの拡販に加えて、板金・溶材関連市場のさらなる開拓、各種補助金活用による新技術・新商品の提案を行い、工場設備全般の受注に注力いたしました。また、引き続き、米国や東南アジアにおけるサービス機能の強化に取り組みました結果、売上高は614億84百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。

《住設・管材・空調部門》

住設・管材・空調部門につきましては、マンション、戸建住宅のリフォーム需要や消費税増税を見据えた需要増加により、住宅設備機器の販売は伸長しました。空調機器の販売も学校関連施設に加え、ビルのリニューアル需要などにより好調を維持しました。また、新エネルギー関連商品においても、蓄電池やパワーコンディショナなどの周辺機器の需要は堅調に推移しました。

このような状況の中、戸建住宅のリフォーム向け商材、バルブ・ポンプなどの非住宅分野の商品や省エネ性能の高い空調機器の販売に注力いたしました。また、新エネルギー関連商品においては、蓄電池・パワーコンディショナなどの周辺機器や自社開発した太陽光発電の出力制御ユニットなどの新商材の拡販に取り組みました結果、売上高は793億48百万円(前年同四半期比12.3%増)となりました。

《建築・エクステリア部門》

建築・エクステリア部門につきましては、オリンピック・パラリンピック施設整備や都市部を中心とした再開発事業などのビル・マンション・ホテル向けの金属建材需要及び商業・物流施設向けの景観エクステリア商材やインフラ関連需要は堅調に推移しました。また、自然災害や自動車事故などの社会問題への対応によるフェンス・ガードレールなどのエクステリア商材や消費税増税前の需要増による物置の販売に伸長がみられました。

このような状況の中、ブロック塀倒壊問題に対するフェンスへの掛替工事提案、耐震・免震材などのレジリエンス製品の拡販に加え、宅配ボックスの販売にも注力いたしました結果、売上高は267億42百万円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

《建設機械部門》

建設機械部門につきましては、インフラ整備、災害復旧・復興工事などの公共工事や都市部を中心とした再開発事業により建設機械需要が伸長するとともに、消費税増税を見据えた需要もみられ、当社主力のレンタル業者向け小型建設機械の設備投資需要は堅調に推移しました。

このような状況の中、国内では国土強靱化計画に対応した取扱商品の拡充や、ミニショベル、ローラーなどの土木・舗装機械、屋内作業向け高所作業車、小型機器などの拡販に努めるとともに、海外向けオークション事業の販売拡大に注力いたしました。海外では、東南アジア向けに油圧ショベル、高所作業車などの販売に注力いたしました結果、売上高は193億22百万円(前年同四半期比22.4%増)となりました。

《エネルギー部門》

エネルギー部門につきましては、低燃費車の普及などにより石油製品の需要減少の中、石油元売事業者の再編の影響や石油製品価格のゆるやかな下落などにより市場環境の変化が続きました。

このような状況の中、卸売事業では一般石油製品・潤滑油の新規販売先の開拓や新商材の販売に注力いたしました。東海地方を中心に展開しているガソリンスタンド事業におきましては、ガソリン、灯油などの拡販に加え、タイヤ・車検・コーティングなどのカーケアサービスの強化に努めました結果、売上高は102億71百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

《その他》

その他部門につきましては、消費材事業では、夏物季節家電の販売は長雨の影響などを受けましたが、生活家電を中心に新商品を投入するとともに、ECサイト事業拡大に努めました。一方、木材事業では、フロア関連資材と住宅用輸入製材の販売は堅調に推移したものの、国内における輸入合板および梱包材市場は、需要が低迷し厳しい販売状況となりました。

この結果、その他部門の売上高は111億16百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて162億61百万円減少し、2,314億86百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が136億63百万円減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて180億64百万円減少し、1,525億64百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が151億57百万円、電子記録債務が21億71百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて18億2百万円増加し、789億21百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が23億80百万円増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、33.9%（前連結会計年度末は30.9%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ8億93百万円減少し、357億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、4億69百万円（前年同四半期比1億82百万円の収入増）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益61億95百万円、売上債権の減少による収入を133億72百万円計上した一方、仕入債務の減少による支出を173億12百万円、法人税等の支払額26億71百万円をそれぞれ計上したことなどによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、5億9百万円（前年同四半期比8億80百万円の収入増）となりました。これは、主に有形固定資産の売却による収入8億96百万円を計上したことなどによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、18億44百万円（前年同四半期比60百万円の支出増）となりました。これは、主に配当金の支払額17億76百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日付「2019年3月期 決算短信」において公表した業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,870	36,029
受取手形及び売掛金	132,715	119,051
電子記録債権	17,805	18,072
たな卸資産	16,596	17,411
その他	3,987	3,097
貸倒引当金	△89	△70
流動資産合計	207,885	193,591
固定資産		
有形固定資産	13,051	12,042
無形固定資産		
のれん	1,372	1,208
その他	2,872	2,450
無形固定資産合計	4,245	3,658
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	6,436	6,462
その他	16,701	16,250
貸倒引当金	△573	△519
投資その他の資産合計	22,565	22,193
固定資産合計	39,861	37,894
資産合計	247,747	231,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,554	114,397
電子記録債務	19,093	16,921
短期借入金	3,048	3,034
未払法人税等	2,583	1,697
賞与引当金	2,415	2,330
役員賞与引当金	89	—
その他	8,009	8,304
流動負債合計	164,794	146,684
固定負債		
株式給付引当金	49	78
役員株式給付引当金	41	53
退職給付に係る負債	638	631
その他	5,103	5,115
固定負債合計	5,834	5,879
負債合計	170,628	152,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,644	20,644
資本剰余金	6,785	6,804
利益剰余金	44,654	47,035
自己株式	△1,454	△1,360
株主資本合計	70,630	73,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,715	3,515
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	△127	△183
退職給付に係る調整累計額	2,432	2,108
その他の包括利益累計額合計	6,020	5,437
新株予約権	396	299
非支配株主持分	71	60
純資産合計	77,118	78,921
負債純資産合計	247,747	231,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	226,319	242,813
売上原価	204,140	219,734
売上総利益	22,178	23,078
販売費及び一般管理費	16,940	17,410
営業利益	5,238	5,667
営業外収益		
受取利息	674	717
受取配当金	142	155
その他	194	219
営業外収益合計	1,011	1,092
営業外費用		
支払利息	520	527
その他	12	45
営業外費用合計	533	573
経常利益	5,715	6,186
特別利益		
固定資産売却益	—	42
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	—	56
特別損失		
固定資産売却損	—	4
固定資産除却損	—	0
借地権償却額	—	14
物流業務再編費用	—	23
災害による損失	30	5
特別損失合計	30	47
税金等調整前四半期純利益	5,685	6,195
法人税等	1,909	2,048
四半期純利益	3,775	4,147
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,769	4,157

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,775	4,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△200
繰延ヘッジ損益	38	△2
為替換算調整勘定	△124	△54
退職給付に係る調整額	△280	△324
その他の包括利益合計	△541	△582
四半期包括利益	3,234	3,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,229	3,573
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,685	6,195
減価償却費	1,065	856
のれん償却額	164	164
固定資産売却損益(△は益)	—	△38
固定資産除却損	—	0
借地権償却額	—	14
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13
物流業務再編費用	—	23
災害による損失	30	5
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△72	△25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△72
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13	△84
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△80	△89
株式給付引当金の増減額(△は減少)	16	29
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	14	11
受取利息及び受取配当金	△816	△872
支払利息	520	527
売上債権の増減額(△は増加)	8,568	13,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,541	△837
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,493	△17,312
長期金銭債権の増減額(△は増加)	43	159
その他	△267	781
小計	1,835	2,787
利息及び配当金の受取額	814	871
利息の支払額	△529	△518
法人税等の支払額	△1,834	△2,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	286	469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△215	△242
定期預金の払戻による収入	194	182
有形固定資産の取得による支出	△92	△208
有形固定資産の売却による収入	—	896
無形固定資産の取得による支出	△225	△146
投資有価証券の取得による支出	△35	△38
投資有価証券の売却による収入	—	118
その他	3	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371	509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△74	△14
リース債務の返済による支出	△54	△50
自己株式の取得による支出	△324	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△1,328	△1,776
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△1,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,947	△893
現金及び現金同等物の期首残高	36,203	36,626
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	177	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,433	35,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	産業機器	工業機械	住設・ 管材・ 空調	建築・ エクス テリア	建設機械	エネルギ ー	計				
売上高											
外部顧客への売上高	35,720	56,582	70,679	24,170	15,787	11,432	214,372	11,946	226,319	—	226,319
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,696	2,062	3,751	1,860	1,833	18	15,223	61	15,285	△15,285	—
計	41,416	58,645	74,431	26,030	17,621	11,451	229,596	12,007	241,604	△15,285	226,319
セグメント利益	1,153	2,504	2,168	630	501	112	7,070	83	7,153	△1,915	5,238

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連商品及び木材製品を販売する事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,915百万円は、主に報告セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	産業機器	工業機械	住設・ 管材・ 空調	建築・ エクス テリア	建設機械	エネルギ ー	計				
売上高											
外部顧客への売上高	34,528	61,484	79,348	26,742	19,322	10,271	231,697	11,116	242,813	—	242,813
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,953	2,287	4,381	2,989	2,145	15	17,772	49	17,821	△17,821	—
計	40,481	63,771	83,730	29,731	21,467	10,286	249,469	11,165	260,634	△17,821	242,813
セグメント利益	817	2,717	2,437	764	559	114	7,411	24	7,436	△1,768	5,667

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連商品及び木材製品を販売する事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,768百万円は、主に報告セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。